

公表

事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	HIYOKO STUDY小山教室		
○保護者評価実施期間	2025年5月15日 ～ 2025年6月7日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	2025年5月15日 ～ 2025年6月7日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年6月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童発達支援の利用児に対してマンツーマンで支援を行うことができている。	・個々の発達状態に合わせたかかわりを行う事を意識している。	・個々の発達に合わせた支援を提供するためにスタッフ間での情報共有を徹底していく。
2	・長期休暇や振替休日の際には放課後等デイサービスの利用児と同じ空間で活動することができる。	・異なる年齢の利用児と関わる機会があり、コミュニケーションや相手を思いやることを意識している。	・様々な活動に参加出来るようなプログラムを立案、実行していく。
3	・季節にあったプログラムや、個々に合わせた活動を提供している。	・時節にあった活動を行うことで、情動的な支援となるよう工夫している。	・活動を多様化させ、個々に必要な支援を提供していく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・特性等に配慮した専門性のある支援ができていなかった。	・アプローチの方法の手段が少ない部分があり、手法として単調になってしまうことがある。	・社内や外部の研修を積極的に受講し、個々にあったアプローチ方法を増やしていく必要がある。
2	・活動プログラムが固定化しているものがある。	・活動内容をルーティン化することにより出来る事を増やしているが、そのことで活動内容が固定化している可能性もある。	・習慣的に行う活動と、新しいことにチャレンジする活動のバランスについて検討していく。
3			